

長野県災害対策を考えるフォーラム(第二報)

謹啓 先生には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、『長野県災害対策を考えるフォーラム』を下記の日程で開催する運びとなりました。ご多忙中とは存じますが、是非ご出席賜りますよう御願い申し上げます。

謹 白

日 時 平成30年1月21日(日) 12:20～16:30
会 場 JA長野県ビル 12階 会議室E
長野市南長野北石堂町1177番地3

■製品紹介 12:20～12:30 ナルサス・ナルラピドについて 第一三共株式会社

■1部 特別講演 12:30～13:30

座長 医療法人愛和会愛和病院 薬局長 萬谷摩美子先生

『災害医療と緩和ケア ～災害時における疼痛緩和の困難～』

岩手県立大船渡病院 緩和医療科
科長 村上雅彦先生

■2部 パネルディスカッション 13:40～16:30

座長 長野県立木曽病院 薬剤科 松原重征先生
医療法人愛和会愛和病院 薬局長 萬谷摩美子先生

『災害対策における薬剤師の役割』

- ① 岩手県気仙薬剤師会 気仙中央薬局 金野良則先生
- ② 藤沢市民病院 救命救急センター センター長 阿南英明先生
- ③ 飯田市立病院 医療安全部 医療安全管理室長 川上善久先生
- ④ ディスカッション

*お問い合わせ：愛和病院 萬谷 TEL：026-226-3863（代）

・薬剤師研修センター 2単位

・日病薬病院薬学認定薬剤師制度認定申請中です。

・日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師制度の認定申請中です。

*当日はご施設名ご芳名のご記帳をお願いします。ご記帳頂いたものは個人情報保護法を厳守いたします。
ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

主催：長野県病院薬剤師会北信支部

共催：長野市薬剤師会、北信薬剤師会、第一三共株式会社

自然災害は、予告なく突然やって来ます。そしてそれは、人間が防ぐことは難しいものです。

しかし、災害に見舞われた際の対応により、被害を最小限に抑えることはできます。

そのためには、過去に起きた災害とその対応を知ることが必要です。どのようなことが起こり、どのように対応したのか、何がうまくいって、何がうまくいかなかったのか、それを知ることで普段からどんな備えをするべきかを考えることができます。

もし、この町で大きな災害が起こったら、あなたは何を考えどう行動しますか？

薬剤師として、災害時に地域住民の命や健康を守るために、自分たちの身近にある「薬」を有効に役立てる手段を考えてみませんか。

今回、企画したイベントは、東日本大震災津波で被災された多くの地域住民を、発災直後より中長期にわたり災害拠点病院として受け入れ、また地域の避難所を回り、自らも被災しながら支援を続けられ、今もなお被災された地域住民の方々と共に歩んでいらっしゃる緩和医療科医師の村上雅彦先生、保険調剤薬局薬剤師の金野良則先生をお招きし、貴重なお話を伺います。

また、東日本大震災や熊本地震で全国の災害派遣医療チーム(DMAT)を指揮された阿南先生や長野県内で災害対策について日々研鑽を積んでおられる先生方とのシンポジウムにより、日頃の備えや、いざという時、どのような知識とスキルが必要であるのか、どう行動するのか、などを意見交換する場も準備しています。

決して人ごとではなく、地域を支える薬剤師として今日からできることを考える貴重な時間となれば幸いです。

寒い季節、貴重な日曜の午後ですが、関心を持ち意見交換に参加したい方、初めて聞く方、医療者として地域の役に立ちたいけれど、不安を持っている方、薬剤師以外の方でも、是非お誘い合わせの上、ご参加ください。

皆さんの熱意を企画者一同、心からお待ちしております。

FAX送信先: 第一三共株式会社 長野営業所 行き

FAX:026-226-1050

1/21 長野県災害対策を考えるフォーラム 参加申込書

医療機関名: _____

お名前	職種(どなたでも)
	薬剤師 ・ ()
	薬剤師 ・ ()
	薬剤師 ・ ()
	薬剤師 ・ ()
	薬剤師 ・ ()

事前のお申込みにご協力を宜しくお願い致します。

50名程度を予定させて頂いておりますが、お申込みのない方の当日参加も歓迎致します。

お問い合わせ先: 愛和病院 萬谷 TEL:026-226-3863(代表)